3 月議会定例会のあらま

た。45の町長提出案件(条例の制定・改正24件、当初予算10件、補正予算8件、その他 3件)が審議され、全て原案どおり可決されました。 平成24年3月内子町議会定例会は、3月8~15日まで8日間の会期で開かれまし

行政報告

内子町長 稲本 **隆**が壽とし

内子町の防災体制

るとともに、被災地の1日も早 者の皆さんのご冥福をお祈りす 年を迎えます。あらためて犠牲 い復興を願います。 もうすぐ東日本大震災から

題を投げかけています。内子町 体制も整えていく必要に迫られ ました。これまでは考えていな 措置計画範囲(UPZ)となり * . 圏内に入ることから緊急防護 も、町域の一部が伊方原発の30 状況で、国の有り様に大きな問 事故は、今もなお先の見えない かった原子力災害に対する防災 大震災による被害や福島原発 国や県の 動向

を行っていきます。を見極めつつ、町でも早急に手

24年度当初予算

同額の交付税が確保される見通 付税が増額され、24年度もほぼ 状況が続いていますが、大震災 しとなりました。 への対策などのために23年度交 地方経済は依然として厳しい

主な内容は次のとおりです。 8
對)の減少となっています。 予算と比べて5億5千万円(5) に重点をおいて編成しました。 建設、防災体制の充実強化など 気を」の実現、小田地区の学校 年寄りに安心を」「働く人に元 である「子どもたちに夢を」「お 画後期計画の実現や、重要課題 総額は90億円で、23年度当初 24年度予算は、内子町総合計

○本庁・分庁・支所の非常用発 電機設置工事

まで) のための医療扶助費

○木造住宅耐震改修補助

840万円

○小田地区学校建設に伴う造成 ○地球温暖化対策機器導入促進 事業補助金 385万円 660万円 ○医療費無料化の拡充(小学生 ○地域防災計画見直し委託業務 4918万円 326万円

4420万円

○公共下水道接続や合併浄化槽 促進費補助事業 設置を促すための住環境整備

000万円

に環境に関する新たな補助も設出は約1400万円です。さら 生まで拡充することで増える支 子どもの医療費無料化を小学

> でと同様に行財政改革や事務事増加が心配されますが、これまけたことで、今後の経常経費の 財政の維持に努めます。業の取捨選択に取り組み、

内子町総合計画後期計画

成しました。概要は次のとおり 定着しているものを見直し、新 計画の前期期間が終了し、計画 策として成熟し事務事業として の見直しを行いました。 しいプロジェクトを加えて再構 ロジェクト10のうち、 後期計画では、重点事業のプ 19年度に策定した内子町総合 すでに施

口

ジェクト」から名称を変更しま です。 した。特別栽培農産物の普及拡 (1) よみがえれ 前期計画の「農林業再生プ 農林業プロジェクト

安心して暮らせる環境づくり 目指します。 め、町内のどのような場所でもスの運行や買い物対策などを進

的な運用と、地域経済を成長さ ていくためには、行財政の効率 これらの計画を着実に実行

減少しています。(22年度決算) 直しなども行い、財政状況は経 2 哲に下げました。補助金の見 だった職員数を251 率14・2 智、 常収支比率85・6 營、 の166億円から110億円に し、人件費を19・9 罰から17・ 内子町は、合併時に316人 起債残高は合併時 公債費比 人に減ら

との差額は約10億円になる見通 す。将来は、現在の普通交付税 り健全な財政運営を維持して しで、さらなる集中と選択によ しかし今後は、合併特例によ

いきます。 訪ねてみるに値するまちづくり 町政運営に臨んで

費者 目指します。 の生産による品質向上とブラン大を進め、安全・安心な農産物 ビジネスとして成り立つ農業を への転換や加工品開発、大口消 ド化を図ります。また新規作物 への販路開拓などを試み、

的な森林施業を支援し、 2 耕作放棄地 安定供給を目指します。 林の集約を進めて計画的・効率 業体、意欲ある林家を中心に山 林業では、森林組合、 林業事 木材の

耕作放棄地を解消して整備された果樹園

める、おいしい本物の食づくり発し、町民から観光客まで楽し がっています。町内の食材を給食など、さまざま分野に広 食事、 5美しい内子プロジェクト を目指します。 使った内子らしい食を追求・開

観づくりを推進し、「住んでよ 美しい市街地、美しい農村景

「食」は、食材、 観光客向けの食事、学校」は、食材、食育、日常の

訪ねてよし」を具現化する

(3)歩きたくなるまち 作放棄地の再生につなげます。 資する仕組をつくることで、耕 を支援し、それに多くの人が投 農業法人や企業の農業参入など た。新しい形の農業への挑戦、

プロジェクト

ます。 歩くコースの設定や道の整備な 路道、 な要素を併せ持つ事業を展開 確認したり、 で健康を維持したり、避難路を どを計画しています。歩くこと など、歴史や自然に触れながら まちの整備や着物で歩きたくな に触れたりするなど、いろい るまち事業、市街地以外では遍 中心市街地では歩きたくなる 龍馬脱藩の道、深山の道 内子の優れた環境 ろ

町内の約3300診の農地の

4分の1から3分の1が

再生プロジェクト

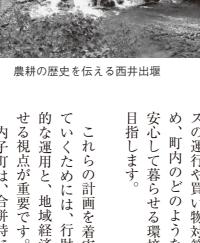
ため、 (6)文化のみちしるべ 向上などを展開します。 物、 プロジェクト 市街地の緑化、河川景観の 自 然素材を使った構築

作・公演など、将来にわたるま能強化、内子座での町民劇の制ました。文化創造センターの機 ました。文化創造センターの機めて「文化」という言葉を掲げ失わないために、総合計画に初 みます。 の道しるべとなる事業に取り組 ちづくり方向を示し、次世代 まちづくりにおける文化を見 \sim

化したプロジェクトを設けまし 意識から、耕作放棄地対策に特 加する耕作放棄地再生への問題 耕作放棄地と推定されます。増

(4)内子の食プロジェク

始めており、今後もデマンドバ り)関係事業」を掲げています。 「小規模高齢化集落 (絆の里づく いわゆる限界集落対策として 後期計画では、これらに加え、 町では21年度から取り組みを



2億円ずつ減額が見込まれま年度で終了し、27年度からは約る普通交付税の算定替えが26 切にした、住むに値するまち かなければなりません。 自然、歴史、文化、伝統を大

(3) 内子町議会だより(平成24年5月発行)